



精神科看護管理ニュース



Vol. **112**

発行 日本精神科看護協会

2023/5/29

1 日精看を中心とした精神科医療現場における虐待防止に向けた団体会議を発足しました。

今年3月から公益社団法人日本看護協会と意見交換会を重ねた結果、一般社団法人日本精神保健看護学会を含めた3団体で、精神科医療現場における虐待防止に向けた団体会議を発足することになり、日精看を中心にロードマップを作成し、すでにさまざまな取り組みを行っています。

先月は精神科看護職の働く環境を守り、患者に安心安全な看護サービスの提供を推進する観点から、次期診療報酬改定に関する要望書を共同で提出しました。加えて、公益財団法人日本医療機能評価機構に向けた精神科看護の質向上に関する要望書も提出しています。

さらに精神保健福祉法改正に伴い、各精神科医療機関における虐待防止措置を講ずる必要があることから、「精神科医療機関における障がい者虐待防止の手引き」を日精看で作成し、精神科医療機関に広く周知していく予定です。

2 精神科病院における看護職による患者虐待事件を受けた今後の虐待防止に係る取り組みの強化に関する共同声明を発出しました。

5月26日、看護職による患者虐待防止に関する共同声明を公益社団法人日本看護協会、一般社団法人日本精神保健看護学会と共に発出しました。日精看は、今年1月に精神科医療機関で発生した虐待行為に関する2度の声明を発出していました。

今回、改めて障がい者虐待に関する再発防止は、看護界全体で取り組みを強化すべき課題であることを認識し、両団体の協力を得て表明しました。

共同声明発出に際しては、すべての看護職の「社会的責任」を明確にし、社会全体で取り組みを促進していくため、日本看護協会の福井トシ子会長、日本精神保健看護学会の寺岡征太郎理事長、石田昌宏参議院議員で、厚生労働省社会・援護局の辺見聡障害保健福祉部長に面会しました。

日精看は、こころの健康を通して誰もが安心して暮らせる社会をつくることに尽力すると共に、各種団体と連携・協働して障がい者虐待防止に取り組むことを改めて表明いたします。



右から、石田参議院議員、草地業務執行理事、日本精神保健看護学会の寺岡理事長、辺見障害保健福祉部長、吉川会長、林精神・障害保健課長、日本看護協会の福井会長

精神科医療現場における虐待防止に向けた団体会議について ➡ <https://jpna.jp/policy>

- 本ニュースは、配信を希望された日精看会員の方にメールかFAXでお送りしています
- 本ニュースのPDFは日精看ホームページ「看護管理者の部屋」でダウンロードできます
- 配信の中止、配信先の変更は、日精看事務局までお知らせください
- 日精看事務局 〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F tel 03-5796-7033 fax 03-5796-7034

1/1